



樫井川河口域の生き物調査の案内

コロナの為、今年度予定していた、例年の「近木川」と「男里川」での生き物調査が出来なくなり、貝塚市立自然遊学館の山田先生にご相談し、今まで実施したことのない「樫井川」でも、生き物調査が出来ると聞き、8月4日に下見をし、生き物調査をするには周りの環境（トイレ・日かげがある等）は問題なかったため、今年度は「樫井川」での生き物調査をすることにしました。何種類の生き物を採取できるかは、未知数である。

*樫井川は、大阪府泉佐野市と和歌山県打田町境の紀泉の山に発し、泉佐野市南部の丘陵地帯を流れ、泉南市岡田で、大阪湾に流入する。全長約16.3 km。沖合には関空連絡橋や空港が望まれる。

*日時：2021年10月7日（木） 10時30分～15時30分

*集合場所・時間：南海・岡田浦駅改札出口・10時30分（岡田浦駅にトイレ有・コンビニ等無し・飲み物の自販機有）

*持ち物：飲み物、弁当、採取した生き物を入れるバケツ、濡れてもいい履物（カキの殻が沢山ある場所もあるため、ぞうりは良くない）

バット・バケツ・熊手など生き物調査に必要な物を持ち帰っている人は持ってきてください。

生き物の同定が出来る資料①「大阪湾男里川・近木川河口周辺に生きる貝」

②「近木川干潟再生地（汽水ワンド）の生き物たち」

③「昨年森海でまとめた『近木川・男里川生き物調査一覧』」

③の資料は昨年、福嶋昭治さんがまとめてくださった一覧（8月25日最新版）**プリントアウト**して、持参ください

*活動：10時30分集合の後、徒歩（約20分）にて生き物採集場所（近くにトイレ有）へ移動

11時～12時30分・・・休憩・昼食・生き物調査の準備

12時30分～13時30分・・・生き物採取（採取した生き物を A～二枚貝、B～巻貝、C～甲殻類に分ける）

13時30分～14時・・・A,B,C 班ごとに資料を使い、同定を行う

A～（二枚貝） B～（巻貝） C～（甲殻類）（フジツボ・ヤドカリ・エビ・カニ）

A～福嶋（昭）・金戸・上條・坂根・杉谷・秦・森・山下・伊藤

B～万井・浅野・大石・木村・権野・荘村・日景・倭

C～空三・金高・川端・東川・西井・福嶋（明）・藤井・山本

グループで同定したら、「樹脂製ラベル」に黒の油性ペンで、生き物の名前を書く

14時～15時・・・山田先生（甲殻類担当）・児嶋先生（貝類担当）から「正しい名前の発表」と、「見分け方のポイント」などを解説していただく
グループで行った同定が間違っていたら、黒の油性ペンで書いた「樹脂製ラベル」の裏に赤の油性ペンで正しい名前を書く

15時～15時15分・・・片付け

15時15分・・・徒歩にて岡田浦駅へ（解散）

***前日17時の天気予報で、大阪の降水確率が50%以上の時は中止とします。**

中止の時は、前日の18時にメールでお知らせしますので、ご注意ください。文責～Aグループ・海 伊藤隆資